

泉佐野
発

→日本一の「ひとづくり」のまちへ

泉佐野市議会議員

千代松 大耕 (34歳)

ちよまつ ひろやす

12月定例議会



変わらない挑戦。
進化する改革。

新しい財政指標

12月定例議会で私が委員長を務めます行財政委員会におきまして12月7日付けで公表されました「新しい財政指標」の説明が行なわれました。一昨年に北海道の夕張市が地方自治体の倒産にあたる財政再建用団体に転落したいわゆる「夕張ショック」によって総務省は地方自治体の財政状況を自治体本体の「一般会計」だけでなく「特別会計」や「事業会計」までを含んで一定の基準のもとに判断していくという方針を打ち出しました。そして6月15日に成立しました「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で新しく4つの指標「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債比率」「将来負担比率」の導入を決定しました。それらの比率がどのように計算されるのかという具体の計算方法が公表されずじまいでしたが12月7日に公表されたわけでありました。

これらの指標については平成20年度決算から適用されます。指標には「早期健全化基準」と「財政再生基準」が設けられ、それぞれの基準に財政状況が達してしまいますと「早期健全化団体」「財政再生団体」の適用を受けてしまいます。「財政再生団体」の適用を受けてしまえば有無を言わず国の管轄下に置かれてしまいます。

泉佐野市が一番気をつけなければいけない指標は4つの中で「連結実質赤字比率」であります。現在の泉佐野市の財政規模から言いますと平成22年時点で約80億円の連結での赤字額を出してしまいますと「財政再生団体」の適用を受けてしまいます。

泉佐野市の特別会計、事業会計には「国民健康保険事業会計」「老人保険事業特別会計」「下水道事業特別会計」「介護保険事業特別会計」「宅地造成事業会計」「水道事業会計」「病院事業会計」があります。この中で泉佐野市がさらに注意をしなければならぬ会計が「宅地造成事業会計」と「病院事業会計」です。市立病院跡地、市民会館跡地、日根野駅前白水池跡地、センタービルの一部を管理している「宅地造成事業会計」は国の打ち出した計算方法によりましてこの会計だけで約50億円の赤字に達してしまうとの説明がありました。また市立病院は現在約10億円の赤字経営ですが、経営状況が芳しくない状況ですので雪だるま式に赤字額が増えていく恐れがあります。

とにかく今の時点ですぐに「財政再生団体」に陥ってしまうということにはなりません、これらの会計の経営改善に泉佐野市としては細心の注意を払って財政運営をしていかなければなりません。

市立泉佐野病院問題②

12月議会で可決された議案の中に「市立泉佐野病院の料金等についての条例の一部を改正する条例制定について」という議案がありました。これは市立病院の分娩料を改正するものです。産婦人科医の不足によって市立貝塚病院と市立泉佐野病院においては産婦人科の集約を行い「泉州広域母子医療センター」を設置することは前号でもお伝えしました。そして泉佐野病院では産科を貝塚病院では婦人科をそれぞれ4月から担当していくわけでありましたが、今回の料金改正はそれに向けたものであり、表①のようになります。

これにつきましては、泉州広域母子医療センターに対して負担金を拠出してくれる近隣自治体に関しては、市内と一緒の料金にいたします。負担金を出して市内料金と同じになる自治体は貝塚市、泉南市、熊取町、田尻町です。これらに自治体につきましては今まで市外料金であったのですが市内料金と同じになるので料金が安くなります。この広域医療は岸和田市以南5市3町ぐらゐを想定したものであり、岸和田市や阪南市、岬町にも話をもちかけていたのですが、今のところはこの話に乗っていません。しかし岬町は4月までには参加の動きがあると新田谷市長は12月議会で答弁されました。なぜこういった市外の方の料金を大幅に改正するのかと言いますと、市立病院での分娩には一人あたりの出産に対して約9万円の公費負担が必要で、その料金をだいたいの人口割りや出産の実績などから各近隣自治体にも負担していただきたというのが今回の流れです。岸和田市以南で一体となつたら大阪府としても色々な支援策が出しやすいということでもあります。4月のスタート時にはこの泉州南地域において安心して出産ができるという状況を維持していくためにも参加の意思を表明していない自治体にも参加を促していただきたと考えています。

表① 正常分娩料金の改定表

時間内	市内	70,000円
	市外	90,000円 → <u>220,000円</u>
時間外	市内	90,000円
	市外	100,000円 → <u>230,000円</u>
深夜	市内	100,000円
	市外	110,000円 → <u>240,000円</u>

*下線が入っているのが今回の改正料金です。

12月議会に上程された案件の中には「泉佐野市市税条例の一部を改正する条例制定について」という議案がありました。これは泉佐野市内の鉱泉浴場に対して新たに入湯税という目的税を設けるものです。市内には大鳴山温泉に5施設、市内中部に1施設の鉱泉浴場があります。他の自治体ではこういった温泉施設に入湯税を課していましたが、泉佐野市の場合は入湯税を設けておらず、これに対して大阪府の指導等もあり、今回新たに課税するための議案を上程してきたわけです。

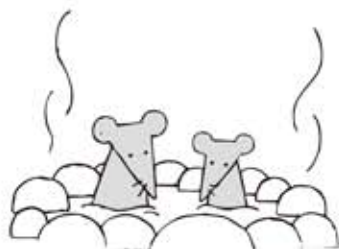
温泉施設で宿泊する方には150円、宿泊しない方には75円課税いたします。

また宿泊しない方で利用が1,000円以下の方には課税されません。

この入湯税は「観光振興、消防設備充実」のための目的税です。大鳴山温泉には年間約3万人の宿泊客が訪れ、それに基づいた税収の見込みは600万円ということですが、

年間の税収が600万円という金額が多いか少ないかは別にしてこのお金は市内の観光振興のために使われていきます。担当課長の答弁では「財政健全化計画によって休止・廃止になっているイベントがある。そういったもののために使っていくたい。」ということでした。財政健全化計画は平成16年度から始まり平成18年度末をもって終了しています。

しかし計画スタート時に休止されたイベントは平成19年度がスタートしてこの復活かされていません。この税収によって休止されていたイベント等が復活することを強く要望していきますし、また多くの市民の方々もそれを望まれていると私は考えます。



今後の「かけはし」予定

千代松大耕が市民のみなさまと市政をつなぐ架け橋となるため、市政勉強会「かけはし」を月に一回開催しています。前半は私がその時々テーマをお話します。後半は市民の方々の意見交換やご質問にお答えいたします。どなたの参加もOKです。お待ちしております！

第37回「かけはし」… 1月24日(木)

第38回「かけはし」… 2月28日(木)

第39回「かけはし」… 3月27日(木)

- 場所 泉の森ホール 2F 小会議室
- 参加費 **無料**
- 時間 19:30~20:30

ミニ集会で意見交換をしませんか?

2~3人の少人数でも構いませんので、市や地域の課題に関して、千代松大耕と意見を交換したいという方はご連絡ください。平日・午前中・昼間でもスケジュールが合えば、どこにでもお伺いします。

携帯用メールマガジンを開設しています!



携帯版「千代松大耕のニュースレター」の購読を希望される方は、左のバーコードを携帯電話で読み取るか、<http://mini.mag2.com/> または「千代松大耕ホームページ」から登録してください。

DoCoMo/au/SoftBank

千代松大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
- 1998.7 米国Lincoln University 大学院 修了
- 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
- 2005.3 和歌山大学大学院 修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
- 2006.5 泉佐野市議会議員3期目当選
- (議会)
- 2003.5 市町村合併検討委員長
- 2004.5 第61代副議長
- 2005.5 厚生文教委員長
- 2006.5 監査委員
- 2007.5 行財政委員長

- (現在) (社) 泉佐野青年会議所 理事長
- (NPO) 大阪夢づくり協議会 理事
- 泉佐野市バレーボール連盟 会長
- 泉佐野市柔道連盟 理事
- 佐野中校区青少年指導員会 会長
- 泉佐野市交通指導員
- 泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問
- 泉佐野青空市場活魚協同組合 顧問
- (社) 全国自衛隊父兄会泉南支部 顧問
- 同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事
- 佐野中柔道部OB会 相談役
- 看護を考える市町村議員の会 副幹事長
- 自由民主党泉佐野支部 政務調査会長

千代松大耕メールマガジン

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!

まぐまぐ発行部数ランキング 政治・行政・自治体部門 全国129位!

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。(週に3~4回は、発行しています)

メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス: <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

登録ページアドレス: <http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

※検索サイトで「千代松大耕」と検索していただければ、私のホームページにヒットします。

連絡先 泉佐野市松原2-5-31

TEL 458-1708

FAX 469-0311

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

メール chiyoma51@hotmail.com

発行部数累計 565,500部 第51号

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。